

平成29年第1回鶴田町総合教育会議会議録

1 期 日 平成29年5月15日(月)

開会 午前10時30分

閉会 午前11時02分

2 場 所 鶴田町国際交流会館202会議室

3 案 件 ①学校給食におけるパン・麺類導入の検討について
②その他

4 出席者氏名

相川正光町長、中野雄臣教育長、竹浪勅佑教育委員、竹浪誠也教育委員、
木村繁子教育委員

5 説明のために出席した者の氏名

佐藤一人企画観光課長、八木橋成人教育委員会教育次長、
成田和磨企画観光課まちづくり班長、當麻和信教育委員会学務総務班長

6 会議内容

(相川正光町長あいさつ)

皆さん、おはようございます。平成29年度第1回鶴田町総合教育会議の開催にあたりまして、一言ごあいさつを申し上げます。日頃、教育委員会の皆様方には、町の教育行政の進展のために、ご尽力をいただき、心から感謝申し上げます。今日は案件として学校給食におけるパン・麺類導入の検討についてということで、ご承知のように私が町長に就任した平成26年の9月議会から話がございますし、私自身、教育委員会の方に検討をお願いして参りました。そして、27年2月2日、教育委員会の方から「当面はこのまま進めていく」ということで、審議の報告を受けてございます。その後、議会の方でも学校給食への麺・パン導入について質疑がございまして、その際、いつも言っていることは、教育委員会が3回かけて慎重に審議して決めたことだから、次に変えるときはもっと慎重にしなければいけない。そのためには少なくとも子どもたちに対するアンケート、あるいは給食の審議会、そして昨年秋には鶴田中学校生徒会メンバーとのまちづくりミーティングがございましたので、私はそこで話題に出して意見を聞くなど、そういう手続きを経ながら、教育委員会で話をしてもらって、そして最後は平成27年4月に施行になった総合教育会議で、教育委員会所管についても、長の私と一緒に話し合いをすることができるというので、今日は学校給食におけるパ

ン・麺類導入の検討について皆さんと意見を交わしながら、協議を重ねて参りたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

①学校給食におけるパン・麺類導入の検討について

(佐藤一人企画観光課長)

①の案件について教育委員会から報告がございますので、お願いします。
(中野雄臣教育長)

【中野教育長が相川町長に手渡す】

はじめに、教育委員会で決定したことについて報告させていただきます。
学校給食における麺・パンの導入に係る検討結果、先の臨時の教育委員会において決定しました。試験的に米粉パンを導入していきたい、ということに決定しましたので、町長にはどうぞ経費について特段のご配慮をお願いしたいと思います。また、いろいろとアンケートを行いましたし、学校給食共同調理所運営審議会でもいろいろ話をしましたので、それについては八木橋次長から説明いたします。

(佐藤一人企画観光課長)

ただいま中野教育長からお話がありましたように、八木橋次長から検討結果等について、ポイント、ポイントの説明があるということなので、よろしくお願いします。

(八木橋成人教育委員会次長)

【手渡した検討結果について説明】

(相川正光町長)

はい。ありがとうございました。では、私の方から発言させていただきます。今、報告ございましたように、この間、アンケートとか、学校給食審議会の開催とか、意見を聞く機会を作ってくれて感謝いたします。そして、米粉パンについて、鶴の里あるじゃの方で鶴田産の米を使ってパンが作られれば、それに越したことはないんでしょうけれど、これだけの多くの量は難しいと聞いていましたし、またほかの各学校で米粉パン導入しておりますけれど、これは多分学校給食センターから取り寄せているんでしょう？

(中野雄臣教育長)

いや、これは工藤パンの方で納入しております。

(相川正光町長)

そういうことで、米粉パンは可能だということで、また経費負担については町の方で考えて補正をしてでもやっていきたいと思っております。

それから、麺については、次長の説明にあったように、課題の容器については、新しい給食センターの建設に合わせて、考えて導入していくべきでな

いかと思っております。

それと、米粉にこだわるということについては、朝ごはん条例の中でも米文化を大事にしていきたいという。また実際、米粉の麺を使っているという所もあるわけですが、麺については個々の課題が挙げられてますので、新しい給食センターができた段階で導入できるように、その方向でセンターの建設に当たっていきたいと思ってございます。

将来、あるじゃの方で学校給食に提供できるようになれば最高なんですけれど、今の設備の中では、設備を大きくしない限りは。

(中野雄臣教育長)

施設もそうですけれど、やはり人員も足りないと。一つ一つ袋に入れないと。多分、機械と導入すれば自動的にパンが袋に入ると言うんですけど、そういうことが今できないということなんですね。

(相川正光町長)

まあ、そういう形で試験的にパンを導入して、経費については町の方で補正予算を組んででも、私は今年度からでも進めていきたいという考えでございましたので。

あと、中学校でのまちづくりミーティングの際、次の生徒会役員の意見も、異口同音にパン・麺を導入してほしいという意見でございました。

(八木橋成人教育次長)

ひとつよろしいでしょうか。先ほど、学校給食会の話が出たんですけども、パンを導入するに当たっては、業者さんについては工藤パンさんの方が想定としてはあるんですけど、学校給食会を通じて購入することによって、給食会が定めて価格で購入できるということで。簡単に言うと、町が直接工藤パンにお願いすると少し高めの設定なるんですけど、学校給食会経由でやることによって助成金みたいのがあるのか、決められた価格で購入できるそうで、その意味では学校給食会を通じて購入するのが、一番経費的にも押さえられるということの話でございましたので。

(相川正光町長)

まあ、価格的に有利な方ということだな。実施の時期については、2学期からということで。補正で要求…。

(八木橋成人教育次長)

私、補正の要求する予定でございました。

(相川正光町長)

2学期だと8月の下旬頃から。

(八木橋成人教育次長)

そうですね。

(相川正光町長)

2学期から実施する方向で、補正の方も計上していきたい。

(竹浪勅佑委員)

学校の方での2学期から対応は。

(八木橋成人教育次長)

給食センターの方にもお話は伝えてありますし、学校の方にも早ければ2学期からどうですかと。対応は可能だということでのお話でありましたので。

(竹浪勅佑委員)

保護者への対応はどのように。

(八木橋成人教育次長)

学校給食運営審議会の中では、学校長の方からは、パンでも麺でも導入することになれば、手紙を出してもらえませんかという話があったんですよ。ようは、保護者向けに周知するために手紙を出してもらえませんかというふうで。私の方ではしっかり決まってしまった上では、それは可能であるし、今までこうしてきましたけれど、2学期からは月に何回かパンを提供することになりましたというような手紙を出せばなと考えていました。

(竹浪誠也委員)

補正予算ついた段階でオッケーということでは。

(八木橋成人教育次長)

6月の議会に予算を提出して、その中で同意が得られれば。もちろん、どういう形で進めていくのか説明しますので。その上で同意をいただければ、公表して進めていってもいいのではないかと。

(竹浪誠也委員)

その時点で、学校通じて通知すれば、1ヶ月あるんで。8月といっても、9月からになるんでしょうね。8月はもう一週間しかないから。

(八木橋成人教育次長)

そうですね。そのところは学校とも話をしたいと思いますけれど。

(相川正光町長)

ということで、我々も皆さんのお話を聞いて、2学期から進めていくということで、財政的な面についても進めていきますので、これからもご協力いただければと考えておりますので、よろしくお願いします。

②その他について

(佐藤一人企画観光課長)

それでは②のその他についてですが、案件①以外に、何かありますでしょうか。

(相川正光町長)

統合小学校建設については、定例会で教育長の方から情報を提供してください。今、駐車場の場所の買収に入っていますので。実施設計は入札が終わって、楠山設計が落札しましたので。

これから悩むのは、補助金と起債以外のすぐ出さなければ行けないお金がどれくらいかかるのか。起債は1年ごとに払っていくのでいいけれども。公共施設の関係で、有利な起債が今年からできましたので、それに乘せていけるように。

(竹浪勅佑委員)

建てる以上は、みすばらしいのは建ててくれないし。鶴田の小学校はいいなと言われたい。

(佐藤一人企画観光課長)

それでは、本日の総合教育会議を終了いたします。